

ガーナ向け輸出貨物船ビア・リバー Bia River。浦賀重工浦賀工場で3月23日竣工、9,600重量トン、17.2ノット。

世界の艦船 7月号（通巻第95号）目次

【表紙】東京湾上の海上保安庁船艇 写真提供：青木 栄一

去る5月15日、羽田沖で行なわれた恒例の海上保安庁観閲式の際の撮影で、観閲船隊と式場警戒の巡視船艇が東京港に向けて帰投しつつある光景。手前から新鋭巡視船“あかぎ”，設標船“かいおう”および測量船“明洋”的順序。左方には遠く白波を蹴って続航する巡視艇の姿も見えている。

写 真 頁

▶ 護衛艦“まきぐも”進水	5
▶ 砕氷艦“ふじ”竣工	7
▶ 米海軍の最新鋭艦艇紹介	8
ガーシア、トラックストン、サイモン・レーク、チャールズ・ベリー	
▶ 海上保安庁船艇の活躍状況	12
▶ 思い出の日本軍艦	15
解説：福井 静夫	
河用砲艦・その1——隅田、伏見、鳥羽、比良、保津、勢多、堅田	
▶ 自衛艦の近影二態	20
あまつかぜ、えりも	
▶ 特集・海上保安庁船艇の全容	21
解説：青木 栄一	
グラビア16頁に62葉の写真を配して詳細に解説した一大特集	
▶ 【写真シリーズ：回想の豪華客船】プレジデント・フーバー	69
▶ 合同訓練を終えて北海道に入港した日米艦隊	70

毎日新聞社の本

航跡

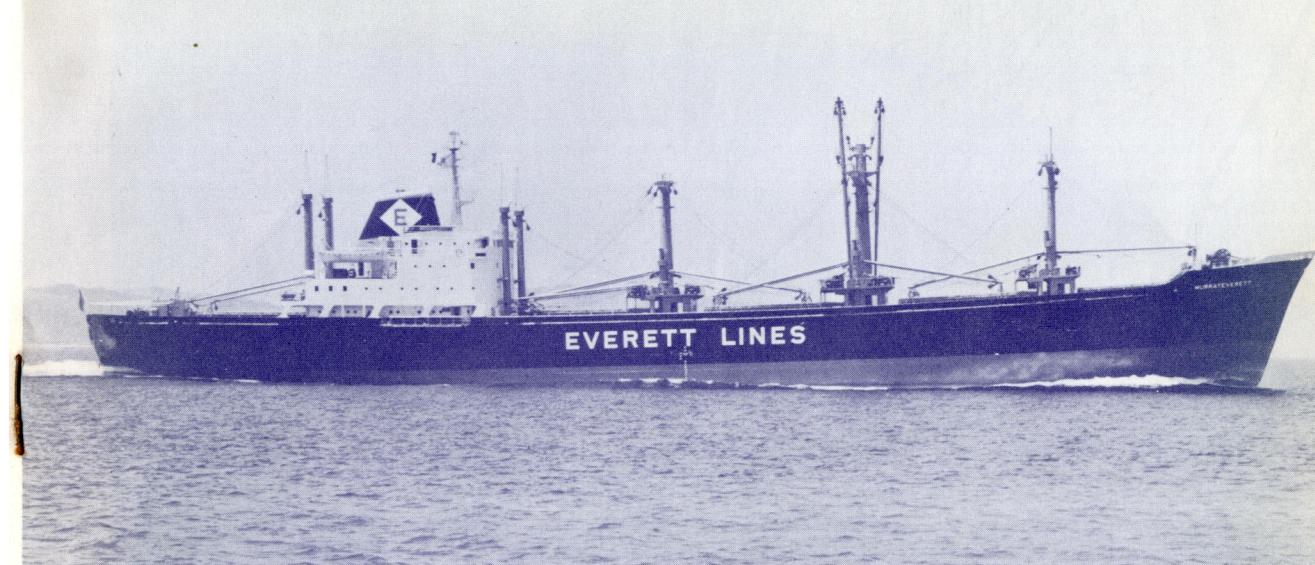
古波蔵保好 380円 日本人の記録

（毎日ノンフィクション・シリーズ⑥）

日本の軍艦建造に
注いだ技術者たちの
情熱と苦闘の記録！

かつて威容を誇った

戦艦「大和」や「武藏」は、
日本海軍の期待をしないながら、あえなく海のもくすと消え去ったが、その軍艦建造のすぐれた技術やアイデアは、戦後、日本の造船にみごとに引き継がれ、豊かに結実している。これは、毎日新聞夕刊に連載、好評を博した感動の軍艦建造秘話を、あらためて一冊にまとめたものである。



リベリア向け貨物船マーレイエバレット Murrayeverett。佐世保重工佐世保造船所で6月15日竣工、8,485重量トン、16.0ノット。

▶ 艦艇短信	72
大阪港を訪れた護衛艦群、公試運転時の“ふじ”，米海軍で研究中の潜航飛行艇	
▶ さようなら“宗谷丸”！〈廃船となる旧稚内～大泊鉄道連絡船〉	73
▶ 日本に向けて太平洋を帆走するアルゼンチン練習艦リベルタ	74
▶ 波瀬の生涯を閉じる貨客船日昌丸	76

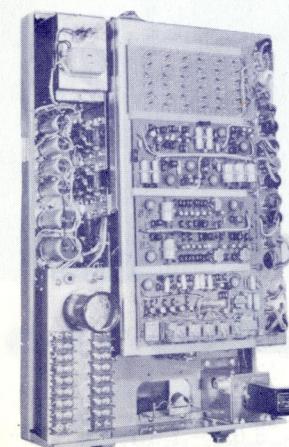
本文記事

★ 海上保安庁 — その歴史と現況 —	中名生正己 37
★ 海上保安庁の船艇	青木 栄一 46
★ 海上保安庁船艇要目一覧表	56
★ 海上保安庁船艇船各一覧表	58
■ 世界の新鋭艦紹介	62
★ 日本海海戦60周年に想う（彼我の艦艇に関する隨想）（下）	福井 静夫 64
★ 日昌丸 — 栄光と傷痕の26年 —	茂川 敏夫 77
★ 寺島水道における伊55潜擱座事故の顛末（下）	折田 善次 82
★ 駆逐艦 — その回顧と展望 —（24）	堀 元美 86
■ 読者交歓室	91
■ 出版協同 PR の頁	92
■ 編集後記	92

あなたの受信機を《自動化》する

モールス通信自動受信装置(MCS)

- 呼出し符号を受信しますと、この機械がおしゃってくれますので、常時待機する必要はありません。
- お手持ちの受信機に簡単に取付ける事が出来ます。
- 別に通信文をタイプする自動印字装置もあります。（御一報しだいカタログ進呈）



営業品目
無線方位測定機・ロラン受信機
音響測深機・ファックス受信機
救難無線ブイ・特殊通信機

株式会社 光電製作所 本社 東京都品川区上大崎長者丸284
電話 東京(441) 1131(代表)